

2022年6月の活動報告

ルミナス佐賀のある佐賀市の取り組みを紹介します。

【ロゴマーク】

「ゼロカーボンシティさがし」

《2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して》

佐賀市は、行政と市民や事業者等が一体となって地球温暖化対策の取り組みを進めるために「ゼロカーボンシティさがし」の表明を行い、目標達成に向け、ごみ原料や資源の有効活用、再生可能エネルギーの普及など環境配慮の取り組みをさらに発展させ、地球温暖化の防止に取り組んでいます。



※ロゴマーク中央の「S」は、持続可能な（Sustainable）佐賀市（Sagashi）へ転換（Switch）するという意味を込めています。

取組の紹介です ～二酸化炭素分離回収事業～

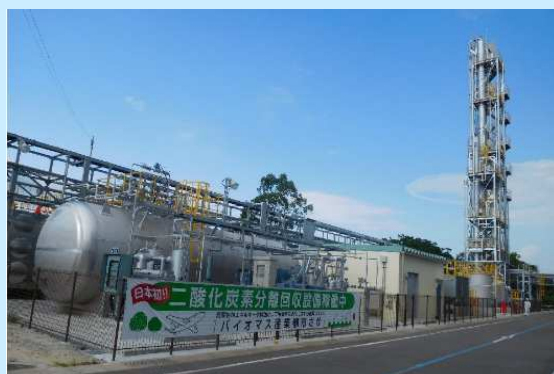
佐賀市清掃工場(ごみ焼却施設)では、ごみを焼却した際に発生する排ガスから二酸化炭素(CO2)のみを分離回収する設備を設置しており、ごみ焼却施設における日本初CCUプラントで、分離した二酸化炭素を野菜や藻類培養に利用しています。

大気中に放出していたガス

- ・窒素：79%
- ・酸素：9%
- ・二酸化炭素：12% → この二酸化炭素のみを分離回収

佐賀市清掃工場内の
二酸化炭素分離回収設備

佐賀市清掃工



～二酸化炭素の分離回収の仕組み～

冷たい吸収液で二酸化炭素を吸収して分離し、貯留は吸収液を温めることで二酸化炭素を放出させて貯留タンクに移動します。

二酸化炭素の分離回収の仕組みは、地球の海洋でも起こっています。

大気中に放出された二酸化炭素は、北極海などの冷たい海水に吸収されています。

二酸化炭素が多く溶け込むことで、海水のアルカリ性が弱まり「海洋酸性化」の問題も指摘されています。

ルミナス佐賀でも、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指して、再生可能エネルギーの利用・省エネの取り組み・工場の緑化・ごみの削減・資源の循環に取り組んでいきます！

2022年6月の環境活動実績

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電大臣	昨年実績を維持	429 kwh/月	394 kwh	108.9%	達成	
節水大臣	昨年実績より-5%	4.700 m ³ /月	4.209 m ³	111.7%	達成	
ごみ処理大臣	可燃ゴミ削減	19.50 Kg/月	17.55 Kg	111.1%	達成	
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進	95 %/月	100.0 %	105.3%	達成	
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	3 件/月	3 件	100.0%	達成	